

もも・ネクタリン特報

H30. 5.2 No.4
J A 中野市営農センター
J A 中野市りんご・もも部会

もも・ネクタリン せん孔病対策

せん孔細菌病の発生が心配される園地では、通常展着剤に代えて固着性展着剤アピオンEの1,000倍を使用する。

*アピオンEに代えて、KKステッカーの3,000倍でもよい。*KKステッカーは調合液を攪拌させながら、最後に加用する。

もも

2回分の防除を掲載しています

⇒他作物へ飛散しないよう十分注意する。モモとネクタリンの混植園ではネクタリン防除を実施する。

第5回 定期防除

下記のいずれかを選択して散布を実施ください

散布日	5月	日
散布量		リットル

通常散布

散布時期：5/11～20 (第4回から10日後)

散布薬剤： 水	100ℓ
展着剤	10ml
フルーツセイバー	50ml
劇 ハチハチフロアブル	50ml
マイコシールド	66g

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、灰星病、(うどんこ病)
モモハモグリガ、アブラムシ類

10a 当り散布量： 500ℓ

カイガラムシ類対策 強化

散布時期：5/11～20 (第4回から10日後)

散布薬剤： 水	100ℓ
展着剤	10ml
フルーツセイバー	50ml
コルト顆粒水和剤	50g
マイコシールド	66g

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、灰星病、(うどんこ病)
アブラムシ類、カイガラムシ類

10a 当り散布量： 500ℓ

注意事項：フルーツセイバーに代えて、トレノックスフロアブルの500倍(7日前、5回)でもよい

第6回 定期防除

下記のいずれかを選択して散布を実施ください

散布日	月	日
散布量		リットル

通常散布

散布時期：5/26～6/4 (第5回から15日後)

散布薬剤： 水	100ℓ
展着剤	20ml
劇 デランフロアブル	100ml
アルバリン顆粒水溶剤	50g

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、(灰星病)、(ホモプシス
腐敗病)、モモハモグリガ、アブラムシ類、
シンクイムシ類

10a 当り散布量： 500ℓ

せん孔細菌病対策 強化

散布時期：5/21～30 (第5回から10日後)

散布薬剤： 水	100ℓ
展着剤	20ml
劇 デランフロアブル	100ml
アルバリン顆粒水溶剤	50g
マイコシールド	66g

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、(灰星病)、(ホモプシス
腐敗病)、モモハモグリガ、アブラムシ類、
シンクイムシ類

10a 当り散布量： 500ℓ

【 もも 農薬使用基準 (第5回～第6回) 】 ()内は収穫前規制および使用回数

フルーツセイバー (前日、3回)、ハチハチフロアブル (前日、2回)、マイコシールド (21日前、5回)

コルト顆粒水和剤 (前日、3回)、デランフロアブル (7日前、4回)、アルバリン顆粒水溶剤 (前日、3回)

次頁にはネクタリンの防除が掲載されております。必ずご覧ください

第5回 定期防除

散布時期：5月11日～20日 (第4回散布から10日後)

散布薬剤： 水	100%	
展着剤	10ml	
トレノックスフロアブル	200ml	(30日前、5回)
劇ハチハチフロアブル	50ml	(前日、2回)
マイコシールド	66g	(28日前、5回)

散布日	5月	日
散布量		%

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、灰星病、(うどんこ病)、モモハモグリガ、シンクイムシ類、アブラムシ類

10a 当り散布量： 500%

【 注意事項 】 ★★ **重要** ★★

- ①うどんこ病の発生が心配される場合は、トレノックスFに代えてフルーツセイバーの2000倍(前日、3回)を使用する。
- ②カイガラムシ類の発生園は、ハチハチフロアブルに代えてコルト顆粒水和剤2000倍(前日、3回)を使用する。

第6回 定期防除

散布時期：5月21日～30日 (第5回散布から10日後)

散布薬剤： 水	100%	
展着剤	20ml	
劇デランフロアブル	100ml	(14日前、2回)
アルバリン顆粒水溶剤	50g	(前日、3回)
マイコシールド	66g	(28日前、5回)

散布日	5月	日
散布量		%

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、(灰星病)、(ホモブシス腐敗病)
シンクイムシ類、モモハモグリガ、アブラムシ類、カメムシ類

10a 当り散布量： 500%

劇マークの農薬をご購入の際は、印鑑をご持参ください

◆ 着果管理について

◎予備摘果：満開30日後頃までに実施する(結実不安定な品種は、結実が判明してから実施する)

◎仕上げ摘果：満開40～50日後頃に実施する(5月25日～6月15日頃)

注意①・・・生育が昨年よりも7日程度早いペースで進んでおります。肥大不良が心配されるため、満開後50日以内に仕上げ摘果が終了するよう作業を進める

注意②・・・結実の良好な品種から順次、摘果を進める

注意③・・・順序は、白鳳系・あかつき・なつっこ・白根→川中島白桃・ネクタリン→黄金桃とする
(黄金桃やファンタジアは生理落果が多いためやや遅めに実施する)

着果位置は、結果枝の側方、斜め下方の果実を残す

*結実量が少ない場合は、品質・着果位置が悪くても基準量を確保する。

もも 結果枝別着果量の目安

結果枝	予備摘果	本摘果
長果枝	2～3個	1～2個
中果枝	1～2個	0～1個
短果枝	0～1個	0～1個

◎長果枝 (30cm 以上)

◎中果枝 (10～30cm)

◎短果枝 (3～10cm)